

せいしょかしよ びと てがみだいいち しょう せつ  
聖書箇所：コリント人への手紙第一 10 章 13 節

きょう  
◆ 今日のみことば

「あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。」コリント人への手紙第一 10 章 13 節

◆ メッセージ

イエスさまはいつでも僕のことを見ていてくれる。でもイエスさまは神さまなのにどうして僕がこんなに大変なのに助けてくれないんだろう。そう思ったことはありませんか。どしゃぶりの雨で家に水が来ちゃった。大きな地震で僕はケガをしたんだ。そんな時、イエスさまがすぐに助けてくれたらどんなにいいだろうと思いますよね。

でも神さまが助けてくれるまで長ーく待つこともあるみたい。とっても長い時間をかけて助けてくださったことが聖書に書いてあります。どれぐらいかかったと思う？ 何と 400年！ えーっと驚くかもしれません。そんなに待ったら僕はおじいちゃんになって、天国に行っちゃうよ。そう、そうかも知れません。昔エジプトで神さまを信じる人たちは奴隷になっていました。いやな仕事はさせられる。食べ物も少ない。死んでしまおうでした。神さまは何をしていたのでしょうか？ 実はじっと見ていてくださったのです。そして大変な時でもみんなが神さまを信じ続けることを願っておられました。400年間も待ったので、病気になったりケガをしたり、たくさんの方が奴隷のまま死にました。でも神さまを信じていたので死んで終わりではありません。神さまはその人たちを天に迎えてくださいました。

大雨や地震そしてケガ。それはもう大変なことです。でも神さまが全部を見てくださるから、イエスさまが必ず天に迎えてくださるから、私たちは何があっても大丈夫。長い時間がかかっても安心してお父さんやお母さん、まわりの人と助け合っていけばいいのです。おじいちゃんやおばあちゃんは大変なことをたくさん経験して知っているの、きっと色々おしえてくれます。そして神さまはがまんする力もちゃんとくださるし、ずっと後になって、「やっぱり神さまは僕のことを見ていてくださった。これが脱出の道だったんだ」そう分かる日が必ずきます。

わたし 安心して神さまに任せて、じっと待っていきましょう。

いの  
◆ お祈り

「いつも見ていてくださる神さま。僕は今大変です。心配だし怖いですが。でもイエスさまが守ってくださることを信じます。ありがとうございます。」

(北総大地キリスト教会牧師 藤田敦)